

B-1 評価計画

題材名：人物を描こう

		題材の評価計画		評価の観点と方法			
次	時			小題材及び目標	主な学習活動	観点1 美術への関心・意欲・態度	観点2 発想や構想の能力
				評価規準	評価規準	評価規準	評価規準
				評価方法	評価方法	評価方法	評価方法
				支援の手だて	支援の手だて	支援の手だて	支援の手だて
第1次	1 2 3 4 5	人物クロッキー ・対象をよく見る大切さに気づき、描画の基礎基本を身につけ、自分の課題を持ってクロッキーをすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 正面・横向きの体の流れを知る。 体の比率を知る。 ポーズを決めて友達をモデルにクロッキーする。 	対象をよく見る大切さに気づき、描くべきポイントをすばやくとらえ、描画の基礎的表現方法を意欲的に行おうとする。	対象の形や特徴をとらえようとクロッキーをしながら観察の仕方を工夫することができる。	対象の形や特徴を的確にとらえて、クロッキーをすることができる。	自他の作品の変容をたどり、互いの進歩や成長の跡を感じ取り、作品のよさを味わい深めることができる。
				方法：観察 発言 作品	方法：観察 作品	方法：観察 作品 発言 作品下のコメント	方法：観察 発言 作品下のコメント
第2次	6	宮本三郎の作品鑑賞 ・人物画を鑑賞し、人物表現への興味と関心を高め、作者の心情や意図と表現の工夫を感じ取り、理解や見方を深める。 ・地域の美術館に親しみを感じ、鑑賞の楽しさを味わおうとする。	<ul style="list-style-type: none"> 「舞妓」を鑑賞する。 ワークシートに沿って感想を書き込む。 自分が感じ取ったことを発表する。 美術館の方からの話を聞く。 授業を振り返り、新たに気づいたことを発表する。 	自分の見方や感じ方を大切に、関心を持って鑑賞し、素直な感想を述べようとする。 美術作品との出会いをこれからの生活の中で生かそうとする。	形のとれない生徒には、7頭身の線を引いたプリントを下敷きにしたり、骨格を表したプリントに肉付けしたりすることで画面への入れ方やプロポーションなどを考えさせるようにする。	授業の中で互いに作品を鑑賞しあい、見つけたこと分かったことなどのお互いの声かけやつぶやきを大切にする。 H・ヘルプやC・クリアなど分からないことや解決したことなどを気づいたときに下欄に書かせることで、自分のよさや学習で得たことを自己確認することで、そこから更なる自分の課題が持てるようにする。	絵から感じ取ったことを伝え合い、表現の新たな視点や発想を見つけ、作者の心情や意図、創造力の豊かさを感じ取り、見方を深めようとする。
				方法：発言 観察 鑑賞ワークシート			方法：観察 発表 鑑賞ワークシート
第4次	7 8 9	ポーズをとる友達を描こう ・友達の表情やしぐさを観察し、対象の内面や雰囲気などを心豊かにスケッチしていく表現の仕方を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> モデルを観察する。 ねらいを明確にする。 ポーズ・構図を練る。 コンテでの表現の仕方を工夫する。 作品を仕上げる。 自他の作品を鑑賞する。 	モデル独自の形や表情の特徴に気づきモデルと関わる意欲を高めようとする。	モデルの表情やしぐさをとらえ、どのように描くか、対象の内面や雰囲気を探求し、構想を練ることができる。	構図やプロポーションを考え、立体感や陰影をコンテの濃淡で描き、工夫改善することで自分らしい表現を深めることができる。	自他の作品のよさを見つけ表現の工夫を読み取っている。
				方法：観察 発言 取り組みカード	方法：観察 作品 取り組みカード	方法：観察 作品	方法：観察 発言 取り組みカード
				描くことを急がせないで、観察と発見に集中できるようにする。 取り組みカードを使い、自分のイメージを具体的にまとめ、用具や作業計画を立てやすいようにする。	モデルから受けた印象と自分の表現したいというねらいと表現の工夫を組み合わせて記入し、明確にすることで工夫を重ねられるようにする。 グループで工夫したことなど話し合い、友達の工夫が分かるようにする。	試しの紙を自由に使えるようにしておく。 友達の工夫が分かるように、友達の作品を自由に見て歩く時間をとる。	描写の巧みさばかりでなく、自分の思いや感動を工夫して表現できたかを考えさせる。 友達の作品のいいところを見つけ、気軽に声をかけられ、それぞれ自信が持てるように配慮する。

